

平成 23 年度

年報

山口県文書館

目次

I 概要		23年度の刊行物	16
1 沿革	2	9 地方調査員	16
(1) 設立	2	(1) 地方調査員会議	16
(2) 年表	2	(2) 地方調査員による文書調査報告実績	16
2 組織	9	(3) 地方調査員名簿	16
3 決算	9	10 広報・普及	16
4 施設	9	(1) 広報活動	16
		(2) 第6回中国四国地区アーカイブズウィーク	16
II 平成23年度業務報告		(3) 資料小展示	17
1 23年度概観	10	(4) 古文書入門講座	17
2 収蔵状況	11	(5) 古文書専修講座	17
3 調査	11	(6) 古文書実践講座	17
4 収集	11	(7) 古文書活用講座	18
(1) 諸家文書	11	(8) 行政文書保存管理研修会	18
(2) 行政文書	12	(9) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議	18
(3) 行政資料	12	11 研究活動	18
(4) 図書雑誌	12	(1) 研究実績	18
(5) その他(特設文庫)	12	(2) 研究会等	19
5 整理	12	12 その他	19
(1) 藩政文書	12	(1) 文書館情報発信充実事業(緊急雇用創出事業)	19
(2) 諸家文書	13	(2) 館内の改修工事	20
(3) 行政文書	13		
(4) 行政資料	13	III 平成24年度の計画	
(5) 図書雑誌	13	1 業務	21
(6) その他(特設文庫)	13	(1) 保存対策	21
6 保存対策	13	(2) 刊行物	21
(1) 修理	13	(3) 普及活動	21
(2) 資料燻蒸	13	2 職員	22
7 利用	13	3 地方調査員	22
(1) 文書館利用状況	13	4 当初予算	22
(2) ホームページ利用者数	14		
(3) 調査室(閲覧室)利用者数	14		
(4) 電子情報処理組織による申請等	14		
(5) 閲覧者数の状況	14		
(6) 閲覧文書点数の状況	15		
(7) 特別利用の状況	15		
(8) 貸出	15		
8 刊行物	16		

I 概要

1 沿革

(1) 設立

当館は、昭和 34 年 4 月に日本で初めての公立文書館として発足した。設立には、次の要因があった。

- ① 昭和 27 年に旧萩藩主毛利家から藩政に関する「毛利家文庫」約 5 万点の史料が県に寄託され、同文庫の保存と公開の措置をとる必要があった。
- ② 昭和 12 年に設けられた県史編纂所（終戦時に閉鎖）において収集・謄写した史料 3 千点の保存と利用を望む声があった。
- ③ 県立山口図書館は、明治 36 年の開館以来、郷土資料室の充実につとめて多くの原文書を収蔵しており、その効率的な利用が望まれていた。
- ④ 県立山口図書館郷土資料室には、県政発足以来の行政文書も収蔵されており、今後の継続的な行政文書の収集・保存・活用を図る必要があった。

これらの要望を充たす施設として、文書館の設立構想が立てられた。さらに山口県地方史学会による設立運動も行われ、昭和 34 年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく県条例によって設置された。

(2) 年表

昭和34年度 (1959)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
34. 4. 1	山口県文書館設置条例により県教育委員会の一組織として設立される	
10. 1	専任職員が配置される	
12.18	書庫増築工事竣工（山口図書館）、引継文書の移管作業を開始	
昭和35年度 (1960)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
35. 4. 1	閲覧業務を開始する	
8. 1	三浦家文書受託	
11.30	「防長風土注進案 12 山口宰判上」刊行	
36. 3.10	「防長風土注進案 16 吉田宰判」刊行	
昭和36年度 (1961)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
36. 5.16	田中義一文書受託	
6.15	「山口県文書館概要」刊行	
6.15	「防長風土注進案 1 大島宰判上」刊行	
8.31	「防長風土注進案 15 舟木宰判」刊行	
10.30	山口県政発足九十年記念「明治初期県政史料展」開催	
11.10	「防長風土注進案 13 山口宰判下」刊行	
12.10	「防長風土注進案 2 大島宰判下」刊行	
37. 1.31	「防長風土注進案 17 美祢宰判」刊行	
3.30	「萩藩四冊御書附」刊行	
昭和37年度 (1962)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
37. 4.20	「防長風土注進案 3 奥山代宰判」刊行	
6.30	「防長風土注進案 4 前山代宰判」刊行	
8. 8	徳山毛利家文庫受託	
9.20	「防長風土注進案 19 前大津宰判」刊行	
11. 5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料展」開催（～11.9）	

11. 5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料解説目録」刊行
12.10	「防長風土注進案 5 上関宰判上」刊行
12.14	県庁行政文書年末収集開始
38. 2.10	「防長風土注進案 18 先大津宰判」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 1」刊行
<hr/>	
昭和38年度 (1963) (館長 上村忠治<図書館長兼務>)	
38. 4. 1	県行政文書の移管を開始 (「山口県文書取扱規程」に基づく)
6.30	「防長風土注進案 6 上関宰判下」刊行
8.31	「防長風土注進案 7 熊毛宰判」刊行
10.25	国体開催記念展「目で見る山口県の歴史」を開催 (～11.3)
10.25	「目で見る山口県の歴史」刊行
12. 19	山内家文書受託
39. 1.31	「防長風土注進案 20 当島宰判」刊行
3.10	「防長風土注進案 8 都濃宰判」刊行
3.26	山口県文書館条例が公布される (施行 39.4.1)
3.26	山口県文書館規則が改正される (施行 39.4.1)
3.31	山口県文書館設置条例が廃止される
<hr/>	
昭和39年度 (1964) (館長 上村忠治<図書館長兼務>-7.5-木原立美<図書館長兼務>)	
39. 5.31	「防長風土注進案 9 三田尻宰判上」刊行
7.20	「防長風土注進案 11 徳地宰判」刊行
9.20	「防長風土注進案 21 奥阿武宰判」刊行
10.17	近世交通史料展開催 (～10.18)
12.10	「防長風土注進案 14 小郡宰判」刊行
40. 3.10	「防長風土注進案 10 三田尻宰判下」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 2」刊行
<hr/>	
昭和40年度 (1965) (館長 木原立美<図書館長兼務>)	
40.6.1	山口県文書館規則一部改正
6.29	県教育委員会行政文書の移管を開始 (「山口県教育委員会事務局文書取扱規程」の改正に基づく)
9.20	「文書館ニュース 1号」刊行 (以後年刊)
11.10	「豊浦藩村浦明細書」刊行
11.10	「文書館案内」刊行 (以後不定期刊行)
41.3.30	「防長風土注進案研究要覧」刊行
<hr/>	
昭和41年度 (1966) (館長 兼清正徳)	
41. 4. 1	山口県政史の編纂事業開始
5.10	廨に指定される
10.25	大村益次郎文書受託
11. 3	「防長風土注進案」の編集スタッフ、西日本文化賞を受賞
42. 3.30	「萩藩閥閥録 第1巻」刊行
<hr/>	
昭和42年度 (1967) (館長 兼清正徳)	
43. 3.30	「萩藩閥閥録 第2巻」刊行
<hr/>	
昭和43年度 (1968) (館長 兼清正徳)	
43. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員の職名が専門員となる

昭和44年度 (1969)	(館長 兼清正徳)
44. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員に研究職が適用される (職名は研究員・専門研究員)
45. 3.30	「萩藩閥閥録 第3巻」刊行
昭和45年度 (1970)	(館長 兼清正徳)
45. 4. 7	日本育英会法施行令の規定による研究所施設に指定される
46. 3.25	「山口県政史上・下」2巻刊行
3.30	「萩藩閥閥録 第4巻」刊行
3.30	「萩藩閥閥録遺漏」刊行
昭和46年度 (1971)	(館長 兼清正徳)
46. 6. 7	文部省史料館主催「近世史料担当職員講習会 (西日本地区)」の会場となる
7. 1	地方調査員制度を発足させる
47. 3. 1	「山口県文書館研究紀要 第1号」刊行 (以後年刊)
昭和47年度 (1972)	(館長 松村茂)
47.10.30	「山口県文書館史料目録3」刊行
48. 3.20	「山口県史料古代編」刊行
昭和48年度 (1973)	(館長 松村茂)
48. 7.23	新館舎が完成し、現在地に移転する
7.23	新築移転記念「山口県文書館史料展」開催 (～8.18)
49. 3. 1	「山口県内所在史料目録 第1集」刊行 (以後年刊)
昭和49年度 (1974)	(館長 松村茂)
49. 5.20	「山口県文書館史料目録4」刊行
50. 1. 1	成人大学古文書解読講座に協力 (以後平成11年度まで)
昭和50年度 (1975)	(館長 田村武文)
51. 1.20	「山口県史料近世編 法制上」刊行
2.24	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 (通称全史料協) の創立大会を開催
昭和51年度 (1976)	(館長 田村武文)
52.1.10	「山口県史料近世編 法制下」刊行
2.24	古文書・行政文書取扱者講習会 (第1回) を開催
昭和52年度 (1977)	(館長 田村武文)
53. 2.22	古文書・行政文書取扱者講習会 (第2回) を開催
3.30	「山口県文書館史料目録5」刊行
昭和53年度 (1978)	(館長 田村武文)
54. 3.20	「山口県史料中世編 上」刊行
3.20	「山口県行政文書仮目録戦前の部」刊行
昭和54年度 (1979)	(館長 木梨亮一)
54.4.～11.	「萩藩閥閥録第1・2・3・4巻・遺漏」再版刊行
5.～3.0	山口県古文書所在確認緊急調査を実施
10.17	全国都道府県史協議会を開催 (～10.18)
昭和55年度 (1980)	(館長 高佐原茂郷)
55. 6.17	有光家文書受贈
昭和56年度 (1981)	(館長 平田豊彦)
57. 2.20	「防長寺社由来 第1巻」刊行

昭和57年度 (1982)		(館長 松本隆馬)
57.10.20	「防長寺社由来 第2巻」刊行	
58. 2.20	「防長寺社由来 第3巻」刊行	
3. 0	「防長風土注進案と同和問題」刊行	
昭和58年度 (1983)		(館長 山下義雄)
58.11. 1	古文書解説 (基礎) 講座を開催 (以後平成17年度まで)	
12.26	「防長寺社由来 第4巻」刊行	
59. 2.20	「防長寺社由来 第5巻」刊行	
3.31	「両公伝史料仮目録」刊行	
昭和59年度 (1984)		(館長 山下義雄)
59. 6.12	県庁舎竣工記念展「目でみる萩から江戸へ」開催 (13日間)	
60. 1.16	「防長寺社由来 第6巻」刊行	
3.26	山口県文書館条例改正 (施行60.4.1)	
3.26	山口県文書館規則改正 (施行60.4.1)	
3.30	「県庁伝来旧藩記録等仮目録」刊行	
昭和60年度 (1985)		(館長 宮本幹雄)
60. 4. 1	副館長が置かれる (山口県教育委員会行政組織規則改正60.3.29)	
10.29	有光家文書が県指定有形文化財に指定される	
61. 2.10	「防長寺社由来 第7巻」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅰ」刊行	
昭和61年度 (1986)		(館長 宮本幹雄)
61.10.15	「萩藩閥閥録 第1巻」三版刊行	
62. 1.10	「萩藩閥閥録 第2巻」三版刊行	
1.30	「府県史料 山口県 1」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅱ」刊行	
昭和62年度 (1987)		(館長 宮本幹雄)
62. 6.30	「萩藩閥閥録 第3巻」三版刊行	
11.11	「萩藩閥閥録 第4巻」三版刊行	
63. 1.14	「府県史料 山口県 2」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅲ」刊行	
昭和63年度 (1988)		(館長 斎藤 博)
63. 7.11	「萩藩閥閥録遺漏」三版刊行	
11.30	「府県史料 山口県 3」刊行	
64. 1. 2	「萩藩閥閥録 別巻」刊行	
3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅰ」刊行	
3.30	「山口県文書館要覧」刊行	
3.30	「年報」刊行 (以後年刊)	
平成元年度 (1989)		(館長 那須 敬)
元. 9.16	開館30周年記念展示会「むら・まち・うら」開催 (~10.15)	
10.10	開館30周年記念「絵図でみる防長の町と村」刊行	
11.30	「府県史料 山口県 4」刊行	
12. 3	開館30周年記念司馬遼太郎講演会「歴史の中の防長二州」開催	
2. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅱ」刊行	

3.30 開館 30 周年記念「山口県文書館の 30 年」刊行	
平成2年度 (1990)	(館長 那須 敬)
2. 4.11	皇太子浩宮殿下山口県中世史研究のため来館
11.30	「府県史料 山口県 5」刊行
3. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅲ」刊行
平成3年度 (1991)	(館長 那須 敬)
3.11.30	「府県史料 山口県 6」刊行
4. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅳ」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 1940 年代－1950 年代」刊行
平成4年度 (1992)	(館長 松永精一郎)
4. 5. 0	古文書専修講座を毎月開催 (以後毎年)
6.22	有光家文書が国指定重要文化財 (古文書) に指定される
8.13	古文書活用講座を開催 (~8.19、以後毎年)
5. 3.31	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅴ」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1940 年代完結簿冊文書」刊行
平成5年度 (1993)	(館長 松永精一郎)
6. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 1 柳井市金屋小田家文書第 1 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 2 リーフレット・ポスター1940 年代～1960 年代」刊行
平成6年度 (1994)	(館長 山本 直)
7. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 2 柳井市金屋小田家文書第 2 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1930 年代完結簿冊文書」刊行
平成7年度 (1995)	(館長 山本 直)
8. 3.29	「山口県文書館諸家文書目録 3」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録 3 地図 1950 年代まで」刊行
平成8年度 (1996)	(館長 宮本典彦)
8. 6.25	山口県文書館整備構想検討会を開催 (以後 8.23、9.12、10.15 の計 4 回開催)
11.20	山口県文書館整備構想検討会報告書作成
9. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 4」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1910・20 年代完結簿冊文書」刊行
平成9年度 (1997)	(館長 宮本典彦)
9. 2. 1	企画小展示「毛利元就関係文書」開催 (~12 月、毎月展示替え)
4.30	「大内版妙法蓮華経板木」が県指定有形文化財に指定される
10. 2. 1	文書館利用規程を改正
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 4 1960 年代第 1 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館諸家文書目録 5 佐藤家文書」刊行
平成10年度 (1998)	(館長 宮本典彦)
10. 4.21	古文書入門講座を毎月開催 (以後毎年)
6.30	「大内版法華経板木」59 枚が国指定重要文化財 (歴史資料) に指定される
11. 1.21	第 1 回文書館ウィーク開催 (~1.27)
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 5 1960 年代第 2 分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊 1 公儀事諸控総目次 I」刊行
平成11年度 (1999)	(館長 宮本典彦)

11. 4. 1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修研究委員会事務局を引受け
12. 1.20	第2回文書館ウィーク開催（～1.27）
3.23	山口県文書館規則第3条第1項改正（但書削除、土曜日全日開館）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録6 1960年代第3分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊2 公儀事諸控総目次Ⅱ」刊行
平成12年度（2000）（館長 青木正典）	
12. 4. 1	土曜日全日開館（9:00～17:00）を開始
13. 1.18	第3回文書館ウィーク開催（～1.24）
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録 1900年代以前完結簿冊文書」刊行
平成13年度（2001）（館長 青木正典）	
14.1.18	第1回文書館デイズ開催（～1.20）
3.29	「山口県文書館諸家文書目録6 上関町吉田家文書」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録7 1960年代第4分冊」刊行
平成14年度（2002）（館長 青木正典）	
14. 4. 1	文書館資料保存修復事業・館蔵品情報発信事業に着手（緊急雇用創出事業）
12.20	「山口県文書館特設文庫目録1 新聞文庫目録（近代）」刊行
15. 1.17	第2回文書館デイズ開催（～1.19）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録8 1940年代以前」刊行
3.31	山口県文書館ホームページ更新（文書館・博物館・美術館情報発信事業）
平成15年度（2003）（館長 村松優一）	
15. 4. 1	文書館収集資料整理事業に着手（緊急雇用創出事業、～16年度）
16. 1.23	第3回文書館デイズ開催（～1.25）
2.10	「山口県文書館特設文庫目録2 雑誌文庫目録（近代）」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊3 諸事小々控総目次Ⅰ」刊行
3.31	ホームページに画像データベース（毛利家文庫絵図・写真・袋入絵図・ポスター・リーフレット）を追加
平成16年度（2004）（館長 村松優一）	
16.10.27	第30回全史料協全国大会及び研修会を山口県総合保健会館で開催（～10.29）
10.29	山口県教育委員会事務局等公文書取扱規定の一部改正（11.1施行）
17. 1.21	第4回文書館デイズ開催（～1.23）
3.31	「山口県文書館諸家文書目録7 上関町国行家・佐倉谷家・吉崎家文書」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録9 地図 1960年代」刊行
平成17年度（2005）（館長 木原 宏）	
17. 6. 9	山口県行政文書（県庁文書12,597点、郡役所文書952点）が国指定重要文化財（歴史資料）に指定される
6.10	第5回文書館デイズ開催（～6.12）
18. 1.20	第1回「山口お宝展」（重要文化財「大内版法華経板木」を展示）開催（～2.12）
2.28	「毛利家文庫目録別冊4 諸事小々控総目次Ⅱ」刊行
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録5 一郡役所文書一」刊行
平成18年度（2006）（館長 木原 宏）	
18. 6. 1	第1回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県文書館史料刊行事業展」・「備後山内氏と一豊をめぐる人々」開催（～6.7）

10. 8	日曜開館（月曜閉館）を試行開始
11.10	第 6 回文書館デイズ「御屋形様の文書－雪舟のパトロン大内氏－」開催（～11.12）
19. 1.19	第 2 回「山口お宝展」（吉田松陰所用の印章）開催（～2.18）
3.30	「毛利家文庫目録別冊 5 諸事小々控総目次Ⅲ」刊行
3.30	「行政資料目録 10 リーフレット・ポスター 1970 年代～1980 年代」刊行
3.30	「山口県内市町村役場文書保存状況調査報告書」刊行
<hr/>	
平成19年度（2007）	（館長 熊寄歳介）
19. 4. 1	日曜開館（月曜閉館）開始
6. 1	第 2 回中国四国地区アーカイブズウィーク「街道に行く」開催（～6.7）
10.4	徳山毛利家文庫・将軍発給文書を公開（閲覧提供）開始
11.5	国文学研究資料館アーカイブズ・カレッジ〈短期コース〉の会場となる（～11.10）
20. 1.18	第 3 回「山口お宝展」（村上水軍関係文書）開催（～2.17）
3.31	「諸家文書目録 8 平生町佐合島佐川家文書 第 1 分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録 1 山口県布達達書Ⅰ ー明治 4～10 年ー」刊行
<hr/>	
平成20年度（2008）	（館長 熊寄歳介）
20. 6. 1	第 3 回中国四国地区アーカイブズウィーク「吉田松陰自賛肖像」開催（～6.8）
10. 1	資料小展示「天璋院篤姫と長州－文書の中の篤姫－」（～11.16）
21. 1.17	大学入試センター試験・日本史 A で当館のことが取り上げられる
3.21	第 4 回「山口お宝展」（鎌倉時代の塩浜絵図－長門国正吉郷入江塩浜絵図－）開催（～4.19）
3.31	「諸家文書目録 9 平生町佐合島佐川家文書 第 2 分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録 2 山口県布達達書Ⅱ ー明治 11～14 年ー」刊行
<hr/>	
平成21年度（2009）	（館長 熊寄歳介）
（通年）	開館 50 周年記念として、資料小展示を「シリーズ アーカイブズを守る」という共通テーマで実施
（通年）	文書館情報発信充実事業
（通年）	全史料協事務局業務（副会長 館長熊寄歳介）
21. 6. 2	開館 50 周年記念として、第 4 回中国四国地区アーカイブズウィーク「天下人と毛利氏－戦国のアーカイブズ－」を開催（～6.9）
21.11.17	当館所蔵「吉田松陰関係資料」754 点が山口県指定有形文化財（歴史資料）に指定
22. 3. 3	大内氏山口開府 650 年「山口お宝展」協賛展示（「足利将軍の出した文書」～4.4）
3.31	「山口県文書館所蔵アーカイブズガイド－幕末維新編－」（開館 50 周年記念出版）刊行
<hr/>	
平成22年度（2010）	（館長 熊寄歳介）
（通年）	文書館情報発信充実事業
（通年）	全史料協事務局業務（副会長 館長熊寄歳介）
22. 6. 1	第 5 回中国四国地区アーカイブズウィーク「長州藩幕末維新資料」を開催（～6.6）
8. 8	行政文書保存管理研修会を開催（102 機関 114 名参加）
10.15	国指定重要文化財（歴史資料）「日明貿易船旗」「高洲家文書」118 点が当館に寄託される
2.18	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催（13 市町 30 名参加）
3.31	「行政文書件名目録 3 山口県布達達書Ⅲ ー明治 15～19 年ー」刊行

- (通年) 文書館情報発信充実事業
23. 6. 1 第 6 回中国四国地区アーカイブズウィーク「ポスター・写真・映像に見る昭和のやまぐち～昭和 38 年山口国体のころ～」を開催 (～6.5)
- 8.19 行政文書保存管理研修会を開催 (98 機関 105 名参加)
- 11.1 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (全 19 市町 37 名参加)
- 11.14～
2.29 館改修工事につき全面休館
- 3.31 文書館のウェブページを全面的に更新し、検索データベースの件数を大幅に増やした。

2 組織 (平成 23. 4. 1 現在)

館長 (1 名)	副館長 (1 名)	専門研究員	(5 名)
		総務	(兼務、2 名)
		嘱託職員・臨時職員	(2 名)
		地方調査員	(6 名)

3 決算 (一般会計、単位:千円)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
14,237	16,956	14,382	27,213	20,163	23,180

4 施設

県立山口図書館・点字図書館等と併設、構造は RC

敷地面積 10,169 m²、延べ床面積 9,819 m²

文書館面積 1,232 m² (利用者ゾーン 209 m²、業務ゾーン 235 m²、書庫<地下 2 層・新書庫>)

図書館面積 7,855 m²、点字図書館面積 190 m²、レクチャールーム面積 542 m²
書架総延長 本館書庫 6.31km、春日山書庫 3.00km、計 9.31km

Ⅱ 平成 23 年度業務報告

1 23 年度概観

今年度の主だった活動状況を概観すれば以下のとおりである。

アーカイブズウィーク

6月1日(水)～5日(日)に第6回中国四国地区アーカイブズウィーク事業を行った。これは中四国地区のアーカイブズがおおむね6月に一斉に広報・普及・啓発活動を行うもので、本館では「ポスター・写真・映像に見る昭和のやまぐち～昭和38年山口国体のころ～」をテーマとして、同名のアーカイブズ展示、「歴史探究講座」として「映像で見る昭和のやまぐち」、「ギャラリートーク」、「アーカイブズ歴史小話」、「文書館を使ってみよう！」などを行った。→P16

調査活動

地方調査員制度による県内史料所在調査への協力助言等を行い、県史編さん事業の調査にも協力した。→P16

収集

平成23年度には4氏から4件2,009点の寄贈、5氏から5件3,585点の寄託を受けた。→P11

行政文書・資料の引継ぎ

県庁各課等から行政文書142点、行政資料3,933点を引き継いだ。→P12

整理・保存対策

寄贈・寄託を受けた新収諸家文書の整理を進め、整理の終わったものについては逐次閲覧に供した。また藩政文書、行政文書、行政資料、図書の整理も進めた。→P12

資料の活用と保存を図るため、毛利家文庫のうち損傷の顕著なものについて修理を行った。→P13

普及啓発事業

アーカイブズウィークのほか、以下の普及啓発活動を行った。

古文書講座

「古文書入門講座」と「古文書専修講座」に加え、「古文書実践講座」を開設した。それぞれ通年10回、教員対象の「古文書活用講座」は8月に4日連続で実施した。

→P17

行政文書保存管理研修会

歴史的資料となる行政文書を確実に遺すための研修会を学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会と併せて行った。→P18

歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、連絡会議を立ち上げた。→P18

文書館情報発信充実事業（緊急雇用創出事業）

国の緊急雇用創出事業として、平成 21 年度から 3 年計画で実施した。→P19

利用者

日曜開館に踏み切って 6 年目となる今年度の閲覧者は、1,952 人（昨年度 2,372 人）、また、資料小展示の観覧者などを加えた入館者は 4,740 人（昨年度 5,926 人）であった。

利用者数の減少は、館の改修工事のため 11 月 14 日から 2 月末日まで全面休館したことの影響が大きい。

閲覧者は一般、公務員、学生、教員の順に多く、とりわけ県史編纂関係者の利用が目立った。→P13

館改修工事等

11 月 14 日から 2 月 29 日まで全面休館とし、館内の改修工事をおこなった。→P20

書庫の増設

館の改修に伴い、旧視聴覚センター内に稠密書架を設置した。また、春日山庁舎について、従来の 2F～4F 書庫に加え、別棟 3F について行政財産の使用承認を受けた。

2 収蔵状況

（平成 24. 3.31 現在）

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図 書	その他 (特設文庫)	総 計
93,512	127,240	76,693	143,827	40,210	21,736	503,218

上記のうち、23 年度新たに収蔵（整理、追加登録）した資料の点数は、次のとおりである。

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図 書	その他 (特設文庫)	総 計
0	5,594	143	3,933	626	4	10,300

3 調査

5 月 13 日	竹田家（山口市）
8 月 26 日	工藤家（山口市）
9 月 9 日	小野家（萩市）
11 月 10 日	金子家（阿武町）
11 月 16 日	阿武家（美祢市）

4 収集

(1) 諸家文書

(ア) 寄贈

小野家文書	1,690 点
木村家文書	161 点
佐々木家文書	12 点
藤岡家文書	1 点

宮崎家文書 145 点
(計 2,009 点)

(イ) 寄託

雨村家文書 (追加) 655 点
河崎家文書 (追加) 1,703 点
河田家文書 64 点
三戸家文書 325 点
亙理家文書 838 点
(計 3,585 点)

(2) 行政文書

各課 (所) に廃棄予定文書の引継依頼を行い、142 点を引き継いだ。引き継いだ文書の主なものは以下のとおり。

市町課 27 点
薬務課 19 点
森林整備課 16 点

(3) 行政資料

・冊子 1,392 点
・リーフレット類 1,442 点
・ポスター類 1,056 点
・地図類 43 点
・図面類 —
・35 mmネガフィルム —
・写真資料 —
・16 mm映画フィルム —
・ビデオテープ —
・録音テープ —
(計 3,933 点)

(4) 図書雑誌 638 点

(5) その他 (特設文庫)

次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。

・一般郷土史料 4 点
・教科書文庫 —
・雑誌文庫 —
・文化財文庫 —

5 整理

(1) 藩政文書

(ア) 毛利家文庫

遠用物のうち近世後期の整理を一部行った。

(イ) 徳山毛利家文庫

引き続き未整理の書状類の整理を進めた。

(2) 諸家文書

次の文書を整理し、仮目録を作成した。

名称	内容等	点数
雨村家文書（追加）	収集史料	655 点
小野家文書	庄屋・浦年寄・村会議員ほか	1,690 点
河崎家文書（追加）	大庄屋・庄屋・協同会社	1,703 点
河田家文書	公文・庄屋 (柳井市指定有形文化財)	64 点
木村家文書	畔頭・村会議員	161 点
佐々木家文書	明倫館教授	12 点
藤岡家文書（下松市）	庄屋・大内氏	1 点
三戸家文書	萩藩士	325 点
宮崎家文書	給庄屋・給畔頭	145 点
亙理家文書	萩藩穴戸家臣・村会議員・俳人	838 点

(計 5,594 点)

(3) 行政文書

平成 23 年度収集文書 142 点について整理し、仮目録を作成した。

(4) 行政資料

平成 23 年度収集文書 3,933 点について整理し、仮目録を作成した。

(5) 図書雑誌

平成 23 年度受入図書 638 点について、追加登録した。

(6) その他（特設文庫）

平成 23 年度収集資料 4 点について整理し、仮目録に追加登録した。

6 保存対策

(1) 修理

行政文書 県庁戦前 A 士族のうち損傷の著しい給禄帳類 5 冊を一般社団法人 国宝修理装演師連盟（福岡県太宰府市）に業務委託し修理した（国庫補助事業）。

(2) 資料燻蒸

新収資料の尾崎家文書、宮崎家文書など 15 件（ダンボール箱 61 箱分）の燻蒸を仮設の天幕燻蒸式で業者（山陽クリーンサービス（有））に委託し実施した。（1.27～30）

7 利用

(1) 文書館利用状況

開館日数 203 日（前年度 269 日）

入館者 4,740 人（前年度 5,926 人）

閲覧者 1,952 人（前年度 2,372 人）であった。

開館日数、入館者、閲覧者の減少は、主に 11 月 14 日から 2 月 29 日までの館内改修

等のための全面休館によるものである。

なお、日曜開館の閲覧者実績は、平均 6.5 人（前年度 6.6 人）、平日の閲覧者実績は 10.8 人（同 9.7 人）、土曜日は 8.4 人（同 8.1 人）であり、全体の平均は 9.6 人（同 8.8 人）であった。

このうち、閲覧者の内訳と閲覧文書点数の状況は、以下（5）及び（6）のとおり。

(2) ホームページ利用者数

平成 15 年 4 月から供用を開始したホームページのアクセス件数は、平成 24 年 3 月末現在で 309,659 件（この 1 年間では 64,022 件）となった。

(3) 調査室（閲覧室）利用者数

区分	入館者	閲覧者	特別使用区分	複写台	絵図室	特別室	合計
H23年度 (H22年度)	4,740 (5,926)	1,952 (2,372)	H23年度 (H22年度)	1,055 (1,351)	347 (229)	20 (117)	1,422 (1,697)

入館者、閲覧者等の減少は、主に 11 月 14 日から 2 月 29 日までの館内改修等のための全面休館によるものである。

(4) 電子情報処理組織による申請等

文書掲載等承認の手続きとして、利用者の便宜を図る観点から利用規定を改正し、平成 18 年 9 月 1 日から電子申請ができることにしている。

(5) 閲覧者数の状況

職業		平成 23 年度				平成 22 年度	
		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)	比率	合計 (人)	比率
教員	大学	99	120	219	15.7%	234	13.7%
	小・中・高校	72	3	75		83	
	その他	11	1	12		6	
学生	大学院	34	86	120	21.7%	119	23.4%
	大学・その他	239	65	304		437	
公務員	国	7	2	9	21.8%	21	23.8%
	都道府県	245	26	271		354	
	市町村	134	12	146		190	
博物館・研究機関		17	22	39	2.0%	54	2.3%
報道・出版		5	18	23	1.2%	42	1.8%
その他一般		636	98	734	37.6%	832	35.1%
合計		1,499	435	1,952	100.0%	2,372	100.0%
前年度比		-276	-162	-420		-439	
開館以来の累計				85,550			

(6) 閲覧文書点数の状況

区分	平成 23 年度		平成 22 年度	
	点数	比率	点数	比率
毛利家文庫	9,927	41.5%	10,544	39.2%
徳山毛利家文庫	649	2.7%	420	1.6%
県庁伝来旧藩記録	505	2.1%	503	1.9%
山口小郡宰判記録	37	0.2%	16	0.1%
郡役所文書	126	0.5%	160	0.6%
行政文書	2,299	9.6%	4,258	15.8%
行政資料	3,073	12.9%	2,933	10.9%
諸家文書	3,876	16.2%	3,282	12.2%
三卿伝史料	73	0.3%	47	0.2%
両公伝史料	1,021	4.3%	1,715	6.4%
県史編纂所史料	177	0.7%	191	0.7%
一般郷土史料	274	1.1%	209	0.8%
軸物資料	320	1.3%	222	0.8%
複写資料	691	2.9%	2,234	8.3%
図書	838	3.5%	151	0.6%
その他	20	0.1%	7	0.0%
合計	23,906	100.0%	26,892	100.0%
S44～H23 年度累計	837,029			

(7) 特別利用の状況

区分	特別閲覧	複写	出版物等 掲載	模造品 製作	貸出	レファレンス 件数
H23 年度	35	1,055	250	0	7	902
(H22 年度)	(42)	(1,351)	(231)	(0)	(11)	(987)

(8) 貸出

萩博物館	企画展「萩・北浦のクジラ文化」展 ----- 4/13～7/2 (岡家文書 3 点)
山口県立美術館	企画展「防府天満宮展～日本最初の天神さま～」 ----- 9/8～11/11 (毛利家文庫 2 点)
衆議院事務局 憲政記念館	平成 23 年度特別展「大正デモクラシー期の政治」 ----- 10/25～12/16 (田中義一文書 3 点)
萩博物館	平成 23 年度特別展 藤田伝三郎翁生誕 170 年記念 「日本の近代を拓いた萩の産業人脈－藤田伝三郎とその時代－」 ----- 11/17～平成 24 年 4/20 (橋本正之文庫 1 点)
北九州市自然史・歴史 博物館	特別展「大内文化と北九州」 ----- 12/26～2/17 (三浦家文書・興隆寺文書ほか 7 点)
サントリー美術館	「毛利家の至宝 大名文化の精粹 国宝・雪舟筆「山水長巻」特別 公開」展 ----- 2/9～平成 24 年 4/30 (毛利家文庫 2 点)

8 刊行物

23年度の刊行物

- ① 『山口県文書館研究紀要』第39号（H24.3.30発行）
A5判162頁
- ② 『文書館ニュース』第46号（H24.3.30発行）
A4判8頁

9 地方調査員

(1) 地方調査員会議

第1回 平成23年9月7日 県立山口図書館第1研修室

- ・「地方調査員制度の総括」専門研究員 和田秀作

第2回 平成24年3月6日 県立山口図書館第1研修室

- ・調査員活動報告
- ・研修「山口県文書館所蔵の行政資料とその活用方法」専門研究員 山本明史

(2) 地方調査員による文書調査報告実績

地方調査員から48件、2,458点の調査報告があった。

(3) 地方調査員名簿（任期 平成23.4.1～平成25.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
岩国・柳井・和木	惠本 洋嗣	山口	佐久間 努
周南・下松・田布施・周防大島	佐伯 隆	山陽小野田・美祢・下関	吉本 一雄
防府・佐波	重枝 慎三	萩・阿武ほか	寺山 忠満

10 広報・普及

(1) 広報活動

『文書館ニュース』第46号（A4判8頁）を発行した。

その他、教育庁、県広報広聴課の広報媒体やイントラ、ホームページ、テレビなどマスコミを使い、諸事業の広報を行った。

(2) 第6回中国四国地区アーカイブズウィーク

6月1日（水）～5日（日）実施。参加者は延べ762人。詳細は以下のとおり。

<アーカイブズ展示>6月1日（水）～5日（日）（文書館閲覧室）

「ポスター・写真・映像に見る昭和のやまぐち～昭和38年山口国体のころ～」

参加者450人。

<歴史探究講座>6月4日（土）（県立山口図書館レクチャールーム）

「映像で見る昭和のやまぐち」

参加者180人。

<ギャラリートーク>6月4日（土）・5日（日）（文書館閲覧室）

専門研究員がアーカイブズ展示の解説を行った（計4回）。

参加者48人。

<文書館を使ってみよう！>6月5日（日）（県立山口図書館第1研修室）

専門研究員が文書の取り扱い方や文書館の利用方法をガイドした。

参加者 13 人。

<アーカイブズ歴史小話>6月5日(日)(県立山口図書館第1研修室)

専門研究員がアーカイブズに関する「ちょっといい話」をリレー形式で紹介した。

参加者 30 人。

<書庫見学ツアー>6月1日(水)～5日(日)(文書館書庫)

専門研究員の解説で、普段公開していない書庫の見学ツアーを行った。(計8回)

参加者 41 人。

(3) 資料小展示

閲覧室の入口に設置している展示ケースを使用して、以下の小展示を行った。

期間	展示題目	担当
4/4～4/29	「吉田松陰所用の鏡」	山田
4/30～5/29	「長門豊田氏」	和田
6/7～6/29	「萩藩密用方と中山又八郎(1)」	山崎
7/1～7/28	「スポーツ時代史展Ⅳ 明治時代の野球」	山本
7/30～8/30	「父親の身代わりとなった息子の物語」	伊藤
9/1～9/29	「俳人種田山頭火の新出資料—新収巨理家文書の中から—」	吉積
10/1～11/13	「開国(2)」	金谷
3/1～4/1	「鉄道競争すごろく—鉄道の発達—」	山本

(4) 古文書入門講座(於:県立山口図書館第1研修室)

古文書入門講座を5～2月の毎月1回、第4土曜日(14時～16時)に開催した。今年度も申込者が多く、抽選の上、受講者30名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～9月	古文書に慣れよう	山本
10月～2月	国司広孝「聞書」(毛利家文庫16叢書36)を読む	金谷

(5) 古文書専修講座(於:県立山口図書館第1研修室)

各地で開催されている古文書講座や、当館開催の入門講座など、古文書講座の受講経験者を対象に、5～2月の毎月1回、第2土曜日(14時～16時)に開催した。受講者は、抽選の上30名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～9月	大内氏当主の文書を読む	和田
10月～2月	いろいろな文字を読む	山崎

(6) 古文書実践講座(於:県立山口図書館第1研修室ほか)

各地で開催されている古文書講座や、当館開催の入門講座など、古文書講座の受講経験者を対象に、5～2月の毎月1回、第2土曜日(10時～12時)に開催した。受講者は、21名であった。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～9月	「御国廻事」(毛利家文庫6巡見事5)ほか2冊を自主的に解読する	山田
10月～2月		伊藤

(7) 古文書活用講座（於：県立山口図書館第1研修室等）

県内の小・中・高校・特別支援学校の教員を対象に、古文書の基礎知識や読解力の習得を通じて古文書への関心を深め、学校教育に古文書を活用する契機を提供することを目的に、8月2～5日の4日間、集中して実施した。受講者は9名で、その内容は次のとおり。

日程	午前（9時30分～12時）	午後（13時～16時）
8月2日（火）	開講式 文書館の活動について（金谷）	古文書の基礎知識（山本）
3日（水）	古文書解読に挑戦 1（和田）	古文書解読に挑戦 2（山崎）
4日（木）	古文書解読に挑戦 3（伊藤）	絵図・地図に親しむ（山田）
5日（金）	資料の活用方法 1 絵図を片手に街を歩こう （山崎・伊藤・山本）	資料の活用方法 2 各自のテーマに関する資料を集めてみよう 閉講式

(7) 行政文書保存管理研修会

歴史的資料となる行政文書を確実に遺すための研修会を学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会と併せて行った。

8月19日に実施し、98機関から105名の参加があった。

(8) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書館法（昭和62年法律第115号）および公文書管理法第34条（平成21年法律第66号）の趣旨に基づき、県及び県内の市町が保管する公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、連絡会議を立ち上げた。

11月1日に実施し、全19市町から37名の参加があった。

11 研究活動

(1) 研究実績

・金谷匡人

『防長風土注進案』 「風俗」の項にみる村の「共同体」

『山口県文書館研究紀要』第39号（平成24年3月）

「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（2）ー」

『山口県文書館研究紀要』第39号（平成24年3月）

・山田 稔

「吉田松陰自賛肖像考ー肖像画の中の松陰ー」

『長州維新の道<下>萩往還』（平成23年7月）

『絵図で見る萩の街道ー萩往還・石州街道・赤間関街道』萩ものがたり 第31集

（平成23年10月）

「萩藩絵図方関係年表（図版編）」『山口県文書館研究紀要』第39号（平成24年3月）

・和田秀作

「弘中氏・賀屋氏と岩国地域」『中津居館跡』（平成24年3月）

「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（2）ー」

『山口県文書館研究紀要』第39号（平成24年3月）

「譜録」佐々木七兵衛佐良の翻刻と紹介

『山口県文書館研究紀要』第39号（平成24年3月）

・山崎一郎

「寛政～文化期前半における萩藩密用方について」

『山口県文書館研究紀要』第39号（平成24年3月）

「一七世紀松江藩領における鑪操業と村一田部家文書にみる飯石郡内の動向」

『田部家のたたら操業と文書目録』（平成24年3月）

日本アーカイブズ学会研究集会「アーカイブズの構造を読み解くー編成・記述論の現在ー」参加記

『アーカイブズ研究』No.14（平成24年3月）

・山本明史

「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（2）ー」

『山口県文書館研究紀要』第39号（平成24年3月）

・伊藤一晴

「明治期山口県における入会山野の官有地編入について」

『山口県文書館研究紀要』第39号（平成24年3月）

・吉積久年

「近世、参詣・巡礼した人々ー徳山毛利家文庫「御蔵本日記」を読むー」

『山口県文書館研究紀要』第39号（平成24年3月）

(2) 研究会等

・金谷匡人

田布施地方史研究会講演「田布施周辺の身近な歴史」（4/24）

上関水軍まつり講演「村上水軍と上関」（7/23）

山口ロータリークラブ茶話「山口県文書館の御紹介」（8/31）

山口県神社庁周東支部講話「氏神とウブスナ」（2/24）

・山田 稔

NHK 情報維新やまぐち・長州歴史館「江戸時代の街道絵図」（8/11）

山口県文化財愛護協会講演「絵図で見る萩往還」（8/17）

萩往還語り部の会研修講師「絵図で見る萩往還」（9/21）

鴻ノ峯学級講演「映像で見る昭和のやまぐち」（2/14）

・和田秀作

雪舟研究会（11/5）

・山崎一郎

国文学研究資料館基幹研究「近世地域アーカイブズの構造と特質」（1/22）

文化庁「近代行政文書の保存利用にかかる意見聴取」（5/19、7/12、11/22）

社会経済史学会中国・四国部会シンポジウム「山陰地方における近世たたら製鉄業の展開」報告「近世前期松江藩領における鉄山業の展開」（11/27）

・伊藤一晴

平成23年度文化財出前講座「学べる！文化財講座」講師（7/6）

12 その他

(1) 文書館情報発信充実事業（緊急雇用創出事業）

国の緊急雇用創出事業として、平成21年度から3年計画で実施した。

【平成21年度】

(ア) 写真・絵はがきのデータベース化・デジタル化及びホームページへのアップロード
(山口菱洋システム株式会社に委託)

- ・行政資料写真、諸家文書写真・絵はがき約 15,000 点
- (イ) 毛利家文庫等のデジタル撮影（シルバー人材センター委託）
 - ・毛利家文庫・両公伝史料など 1,152 冊
- (ウ) 情報発信のためのクリーニング作業（シルバー人材センター委託）
 - ・徳山毛利家文庫 6,610 冊

【平成 22 年度】

- (ア) 検索用データ入力作業
 - ・閲録別巻データ、譜録所収中世文書データ、山口県内所在史料目録データなど 11 種類の検索用データの入力作業
- (イ) 毛利家文庫等のデジタル撮影
 - ・「給録」等 528 冊
- (ウ) 行政資料のデータ入力及び整理
 - ・1970 年代・1980 年代・1990 年代追加資料など約 19,000 点

【平成 23 年度】

- (ア) ホームページの改修およびデータのアップロード
 - ・諸家文書、行政資料、件名情報、画像データ等約 145,000 件追加
- (イ) 検索用データ入力作業
 - ・重要文化財「山口県行政文書」等の件名データ入力（寺社・人事）
- (ウ) 重要文化財「山口県行政文書」等のデジタル撮影
 - ・「山口県布達」等 265 冊
- (エ) 行政資料のデータ入力及び整理
 - ・1970 年代・1980 年代・1990 年代追加資料など約 4,000 点
- (オ) 『防長風土注進案』の「風俗」の項のデータ入力及び整理、データベース化

(2) 館内の改修工事（全館休館）

館内の改修工事にともない、11 月 14 日から 2 月 29 日まで全面休館とした。文書館関係分は、閲覧室の改修（床の張り替え等）、机・椅子・書棚の修理・新調、パーティション・ライティング等の設置、展示ケースの新調等である。

Ⅲ 平成 24 年度の計画

1 業務

(1) 保存対策

国指定重要文化財 山口県行政文書の修復

(2) 刊行物

『山口県文書館年報（平成 23 年度）』のデジタル刊行

『山口県文書館研究紀要』第 40 号の刊行

『文書館ニュース』第 47 号の発行

(3) 普及活動

アーカイブズウィーク（対象 一般県民）

平成 23 年 6 月 1 日（金）～10 日（日）

会場 文書館閲覧室、県立山口図書館レクチャールーム及び研修室等

古文書講座

古文書入門講座（定員 30 名）

会期 平成 23 年 5 月～平成 24 年 2 月の第 4 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

古文書専修講座（定員 30 名）

会期 平成 23 年 5 月～平成 24 年 2 月の第 2 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

古文書実践講座（定員 20 名）

会期 平成 23 年 5 月～平成 24 年 2 月の第 2 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

授業で役立つ 文書館活用講座

会期 平成 23 年 8 月 2 日（火）～5 日（金）

会場 文書館・県立山口図書館研修室等

対象 県内の小・中・高・特別支援学校の教員

行政文書保存管理研修会（対象 行政機関の担当者）

歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議（対象 行政機関の担当者）

2 職員（平成 24.4.1～）

所属	氏名	主な担当業務
館長（非常勤）	長谷川 信明	館務統轄
副館長	金谷 匡人	業務総合調整・館内管理・予算決算
専門研究員	山田 稔	閲覧利用・広報・普及に関すること
〃	和田 秀作	諸家文書に関すること
〃	山崎 一郎	藩政文書に関すること
〃	山本 明史	行政資料に関すること
〃	伊藤 一晴	行政文書に関すること
（兼）総務管理グループリーダー	河村 哲	庶務会計等
（兼）主事	内田 達志	〃
嘱託職員	吉積 久年	文書整理
臨時職員	伊藤 千絵	閲覧提供業務の補助、文書整理の補助

3 地方調査員（任期 平成 23.4.1～平成 25.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
岩国・柳井・和木	惠本 洋嗣	山口	佐久間 努
周南・下松・田布施・周防大島	佐伯 隆	山陽小野田・美祢・下関	吉本 一雄
防府・佐波	重枝 慎三	萩・阿武ほか	寺山 忠満

4 当初予算（単位：千円）

事業費	予算額（千円）	事業概要
文書館運営費	8,208	運営関係費
文書保存整理刊行費	2,365	文書の整理等
文化事業費	4,340	古文書講座・文書の修復等
合計	14,913	